

平成22年度 決算の概要

まちの家計簿

平成22年度の町の決算が9月の町議会で認定されました。今月号では、昨年度の町のお金がどのように使われたのかをお知らせします。

平成22年度決算は、国に提出した財政健全化計画策定後の2年目の決算となりました。平成18年3月に旧虹田町と旧洞爺村が合併し、新しい洞爺湖町が誕生し5年が経ちました。合併以来、事務事業の見直しによる行政サービスの効率化、行政コストの縮減、職員数の適正化や職員給与の独自削減等の内

部管理経費の削減などを行ってきました。

平成18年度からは、公債費など(借金の返済額)を適正に管理することを目的に「洞爺湖町公債負担適正化計画」を策定し、中長期的な視点から計画的に収支のバランスを考え、決して無理な起債(借金)はしないことと



税務財政課
財政健全化推進グループ
☎ 74-3003

◆一般会計◆	
歳入決算額	77億4685万5千円
(対前年度)	2.8%増
歳出決算額	75億6016万1千円
(対前年度)	2.5%増

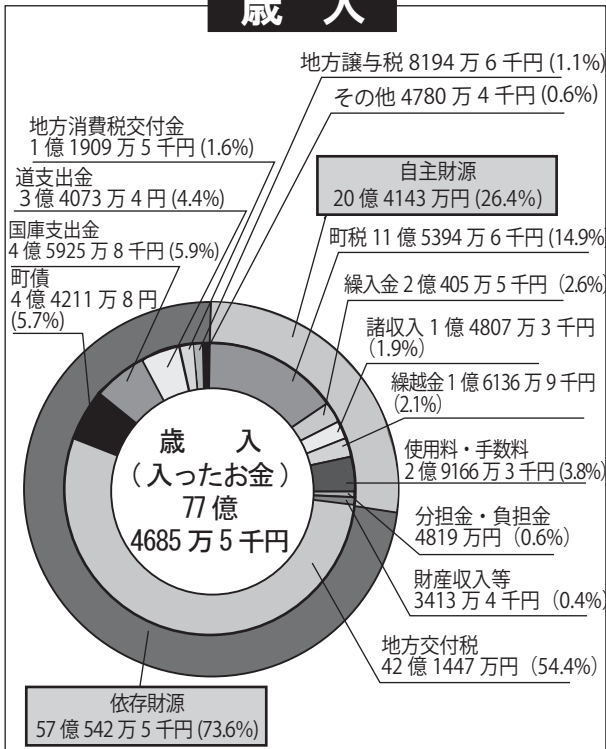
しかし、当町は合併以前から旧町村が抱えていた公債費などが多額に推移しており、町の収入に対する借金の割合を示す実質公債費比率が、平成20年度決算で29.8%となり、国が示す早期健全化基準である25%(黄色信号)を超え財政健全化団体となりました。このため、一昨年12月、議会の議決を得て財政健

収支の状況

平成22年度の1年間に、町に入ったお金(歳入)77億4685万5千円から使ったお金(歳出)75億6016万1千円を差引いた額は、1億8669万4千円で22年度から23年度への繰越事業に必要な額を差し引くと1億6999万7千円が実質収支となりました。

決算額増加の主な要因は、町の貯金である基金への積立額、子ども手当の創設に伴う国道支出金、北洞爺デジタルテレビ中継局整備、洞爺水の駅周辺整備、町営浴場いこいの家改修などの建設事業、洞爺湖温泉誕生10

歳入



歳出

